EIDAI

WOOD

EARTH · SOCIETY · HUMANS
SYMBIOTIC

環境社会報告書

ENVIRONMENT & SOCIAL REPORT

2009

木を活かし、よりよい暮らしを

人は遥か昔から「木」と暮らしをともにし、自然と調和してきました。しかし一方で人は物質的な豊かさを求め過ぎるあまり、深刻な環境破壊を引き起こし、その結果、真の豊かさとは何かを見失ってしまいました。私たちは住まいづくりの中で「木」を活かし、よりよい暮らしを実現することこそ、本当の豊かさであると確信しています。ただしそれは、この地球で「共に生きる」という思想のもと、持続可能な社会が確立して初めて可能になる、と考えています。
永大産業はそのような社会を構築するため、地球、社会、人との共生を通じて環境保全に取り組み、なお一層、社会に貢献する企業であり続けることを目指しています。

3つの共生を目指します。

永大産業は、持続可能な木材資源の利用を推進するかたわら、役目を終えた木製品や木質廃材が再び社会で利用されるよう、独自のリサイクルシステムで地球環境の保全に努めて参りました。当社は環境との調和を重んじ、地球との共生を継続していきたいと考えています。

永大産業は、社会の公器としての立場を認識し、広く情報公開を行い、透明性の高い経営に努めます。当社は法令を遵守し、社会的利益の還元を積極的に行うことで、これからも社会との共生を尊重していきたいと考えています。

永大産業は、誰にとっても健康的であり、なおかつ安全、安心に使えるモノづくりを目指しています。当社はそれら製品の使い易さ、快適さをさらに追求することで、人との共生をかたちにしたいと考えています。

発行の目的

本報告書は永大産業の環境、社会に関する活動を、広く知っていただくために発行するものです。

編集方針

本報告書は持続可能な社会の実現に向け、永大産業の取り組みを具体的なデータを添えて掲載したものです。活動の内容については、個々の担当者によるコメントを記し、よりわかりやすくなるよう努めました。

報告対象範囲

永大産業株式会社（個別）
一部グループ会社の報告を含みます。

対象期間

2008年度（2008年4月から2009年3月まで）の活動を掲載していますが、一部2009年度における取り組みも報告しています。

参考ガイドライン

環境省「環境報告ガイドライン（2007年版）」

次回発行時期

2010年9月発行予定

お問い合わせ先

〒559-8658　大阪市住之江区平林南2-10-60
永大産業株式会社　経営企画部CSR推進室
TEL　06-6684-3062
FAX　06-6684-3068

目次

1　基本理念
2　編集方針・目次
3　トップメッセージ
5　会社概要

マネジメント
7　コンプライアンス
8　永大産業企業行動憲章
9　コーポレートガバナンス
10　リスクマネジメント

環境報告
特集
11　木を活かした環境保全への取り組み
12　特集1　ヨーロピアンビーチ／タスマニアンユーカリ
13　特集2　エコメッセージフロア
15　特集3　パーティクルボード バイオマス発電／バイオマスボイラー

環境とともに
17　環境方針
18　地球温暖化防止への取り組み
19　マテリアルバランス/環境会計
21　環境への取り組み
23　環境マネジメントシステム
24　産業廃棄物削減への取り組み

社会性報告
お客様とともに
25　お客様相談センター
26　ユニバーサルデザイン
27　品質管理

従業員とともに
29　従業員とともに

地域社会とともに
31　地域社会とともに

33　サイトレポート
34　ホームページ紹介　編集後記

木を活かした製品づくりを通じて社会に貢献します

持続可能な循環型社会の形成に寄与することは、
企業の果たすべき社会的責任です。
永大産業は「環境創造型事業」を通じて
よりよい暮らしを実現し、
社会の発展に役立っていきたいと考えています。

地球・社会・人との共生を目指して

当社は「木を活かし、よりよい暮らしを」という基本理念のなかで、地球・社会・人との共生を掲げています。これは、住まいづくりの中で「木」を活かし、よりよい暮らしを実現するには、この地球で「共に生きる」という考え方が不可欠であり、地球環境の保全や今後の社会の発展に、なくてはならないものであると認識しているからです。
この考え方に基づき、当社は持続可能な森林から調達した木材資源を活用して、暮らしに役立つ木質製品を開発してきました。また、長期にわたり利用され役割を終えた製品を回収し、再び製品化する事業も行ってきました。さらに、消費者からのニーズを反映させるとともに、安心・安全に使える製品づくりに取り組んできました。当社はこうした「環境創造型事業」を推進することにより、広く世の中に貢献することが、住まいに携わる当社の果たすべき社会的責任であると思っています。

40年間にわたり二酸化炭素の発生を抑制

木製品のマテリアルリサイクルを目的に、1969年、敦賀事業所のパーティクルボード工場が稼働しました。それから今年でちょうど40年が経過し、現在は、山口・平生事業所、小名浜合板をあわせた3工場でパーティクルボードを生産しています。いかなる木製品も焼却処分すれば二酸化炭素が発生しますが、燃やさずにパーティクルボードに再生し、キッチンや収納の扉などに利用すれば、二酸化炭素を発生させることなく、いつまでも炭素を固定させておくことができます。これまでに当社グループがパーティクルボードを生産することで、実際にどれだけの二酸化炭素の発生が抑制できたか計り知れません。

Top Message

環境に優しく、技術力向上を図ります

持続可能な森林管理がなされているヨーロピアンビーチや、世界的な森林認証制度のひとつであるPEFC認証をうけたタスマニアンユーカリの採用は、合法的な木材調達に力を入れてきた当社の取り組みを具体化したものです。いずれも加工の難しい樹種ですが、長年培ってきた木材の加工技術でこれを克服し、製品化に成功しました。
当社はこのような環境に優しい材料を製品化する技術力をより一層高めていくとともに、今後も取引先と協力して木材のトレーサビリティーを明らかにする努力を継続します。

社会から必要とされる企業に

よい製品を供給するというメーカーの本分を全うし、社会から必要とされる企業となるためには、社員全員が正しい見識を持つことが重要です。当社のコンプライアンスは、法律や社内規定などの遵守にとどまらず、当社で働くすべての人々がより高い倫理観・価値観を共有することを重視しています。社会から高い信頼を得ることを目標に、法務コンプライアンス室が中心となって、様々な社内啓蒙活動に力を入れています。
これまでにインサイダー取引を未然に防止する仕組みづくりや、個人や企業情報の漏洩を防止する社内体制の強化に取り組んできました。また、2008年度は企業の倫理的使命の自覚を促すため「反社会的勢力排除マニュアル」を作成しました。

より質の高い住まいづくりに挑戦

住宅市場を展望すると、すでに住宅ストックの数が世帯数を上回り、量のうえでは充足しています。しかし住まいの質に関しては、まだまだ不充分としか言えません。
一方、「長期優良住宅の普及の促進に関する法律」が2009年6月に施行されるなど、住宅の長寿命化を図る動きもみられます。省エネルギーで維持管理が容易、なおかつ安心・安全に長く使用できる製品に対するニーズは、ますます高まっていくのではないでしょうか。当社は今後もいち早くそのニーズに応え、製品化する事業活動を展開します。

当社は「環境創造型事業」を通じて、より質の高い住まいづくりに挑戦し、社会に貢献する企業であり続けたいと考えています。

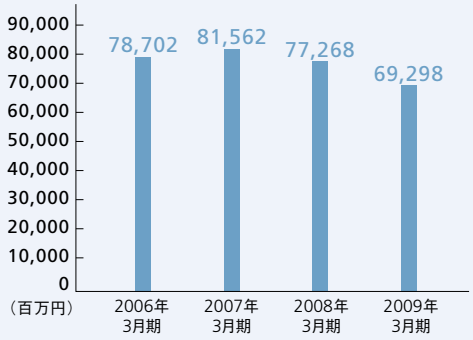
代表取締役社長
吉川康長

会社概要

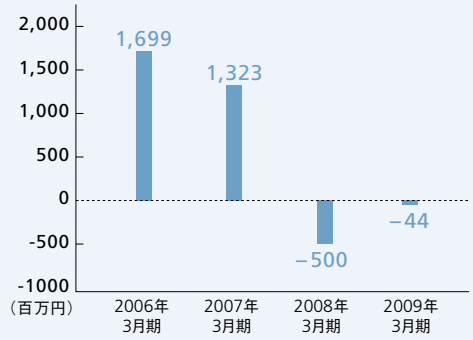
会社概要

社名	永大産業株式会社（Eidai Co.,Ltd）
創業	1946年（昭和21年）7月29日
本社所在地	大阪市住之江区平林南2丁目10番60号
資本金	32億8530万円（2009年3月現在）
従業員数	1513名（2009年3月末日現在 連結）
製造拠点	大阪事業所、敦賀事業所、山口・平生事業所
営業拠点	東京、名古屋、大阪ほか全国41箇所
事業内容	住宅資材および木質ボードの製造・販売
上場	東京証券取引所　市場第二部（証券コード:7822）
グループ会社	小名浜合板株式会社（福島県いわき市）
	永大テクニカ株式会社（大阪市）
	永大スタッフサービス株式会社（大阪市）
	永大テクノサポート株式会社（大阪市）
	エヌ・アンド・イー株式会社（徳島県小松島市）

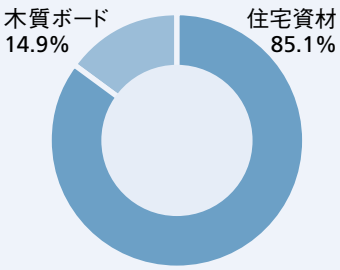
売上高（連結）



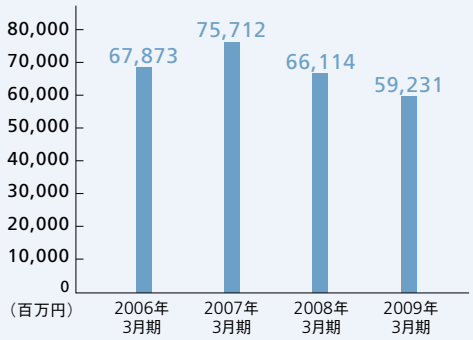
経常利益（連結）



事業別売上比（連結）



総資産（連結）



製造拠点

■ 大阪事業所（大阪府堺市）
システムキッチン・室内ドア・収納・造作材

■ 敦賀事業所（福井県敦賀市）
フローリング・床暖房用フローリング・一体型床暖房・室内階段セット・パーティクルボード

■ 山口・平生事業所（山口県平生町）
フローリング・床暖房用フローリング・床造作材・パーティクルボード

［グループ会社］

■ 小名浜合板（株）（福島県いわき市）
パーティクルボード・収納・造作材・室内階段セット

■ エヌ・アンド・イー（株）（徳島県小松島市）
MDF

営業所

札幌※、青森、盛岡、仙台※、山形、福島、新潟※、宇都宮、茨城、群馬、埼玉、千葉、柏、東京、東京西、相模原、横浜、山梨、長野、金沢※、静岡※、名古屋※、三重、京都※、大阪、神戸、姫路、岡山※、広島※、米子、山口、高松、松山、北九州、福岡※、長崎、熊本、鹿児島、沖縄※

※ショールームを併設

永大産業の各事業を紹介します

ビーチヨーロッパ階段

エコメッセージナチュラル

エコメッセージV

フローリング・室内階段

素材を厳選し、
環境に配慮した製品を開発しています。

持続可能な森林資源を活用し、環境に配慮したフローリングや室内階段セットなどの製品を開発、生産しています。中高層市場向けの床暖房、遮音床をはじめ、安全・安心で施工性に富む高機能製品の品揃えを図っています。

建材事業部	取扱製品 フローリング、一体型床暖房、床造作材、壁材、エクステリア部材、室内階段セット、室内階段廻り部材

シューズコンポ

リビングステージ

クロゼット折戸

室内ドア・造作材・収納

最先端のデザインを製品に反映させるとともに、
短納期を実現しています。

常に次のトレンドを意識し、最新のデザインを室内ドアやクロゼット、シューズボックスなどの製品に取り入れています。また、見積もりから納品まで一貫したシステムを構築することで、業界屈指の短納期を実現しています。

内装システム事業部	取扱製品 室内ドア、システム造作材、カウンター、クロゼット、シューズボックス、ユニット収納

セレラHStype

ピアサスS-1

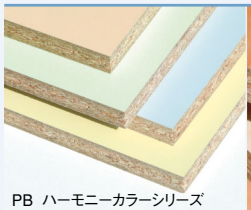
ラフィーナ

システムキッチン・サニタリー・バス

ステンレス加工技術を活かした、
使いやすい水まわり製品を提案します。

水まわりに最適なステンレス素材を採用し、独自の加工技術を駆使した、いつまでも美しく水じまいなどの機能に優れたシステムキッチンを中心に製品展開しています。

住設事業部	取扱製品 システムキッチン、洗面化粧台、トイレカウンター、システムバス、床下収納


PB ハーモニーカラーシリーズ

MDF

PB ウッディシリーズ

パーティクルボード

国内最大級のパーティクルボードメーカーとして、
木材資源の有効利用を推進しています。

近年、実質的にホルマリンを含まないボードの生産を行っています。不用になった木質製品を焼却せずマテリアルリサイクルを行うことで、二酸化炭素を発生させることなく、炭素を固定化し、環境保全に寄与しています。

パーティクルボード事業部	取扱製品 パーティクルボード、MDF

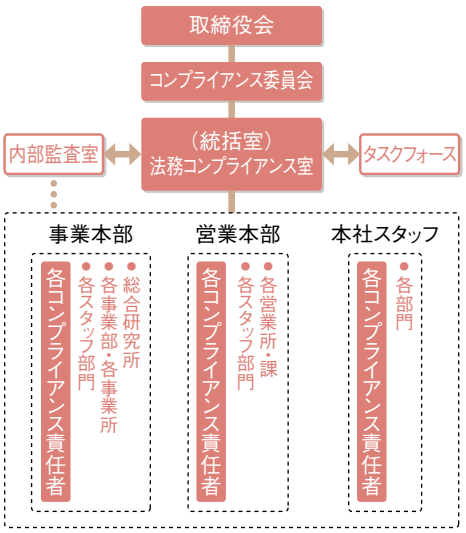
コンプライアンス

コンプライアンス（法令遵守）の強化に努めています

コンプライアンスとは「法令遵守」とも訳されますが、法令とは法律だけでなく、社内の規定、企業倫理にまで及びます。
永大産業のコンプライアンスは、法律や社内規定にとどまらず、
当社で働くすべての人々がより高い倫理観・価値観を共有することを目指しています。

全社一丸となってコンプライアンスを実践しています

永大産業では、全社でコンプライアンスを実践できるよう「コンプライアンス・マニュアル」を制定しています。このマニュアルには役員及び従業員の役割のほか、組織体制やコンプライアンス意識高揚のための啓蒙活動についても定めており、「高い企業価値の創造」の実現に向けて活動を行っています。
コンプライアンスを実践する体制として、コンプライアンス委員会は、組織横断的にコンプライアンスの具体的な実践計画などの重要事項の協議を行い、法務コンプライアンス室は、統括室として教育、助言などの全社的な取り組みを推進しています。また、タスクフォースは同室に対して、実務面から調査、報告、提案し、コンプライアンスを実践する組織体制を整備しています。
また、日常の事業活動で頻繁に起こる可能性のある事例を集めて、判断のよりどころとする事例集を全社員に配布して従業員への教育を行い、身近なレベルでの理解を深める取り組みを進めています。



インサイダー取引の防止

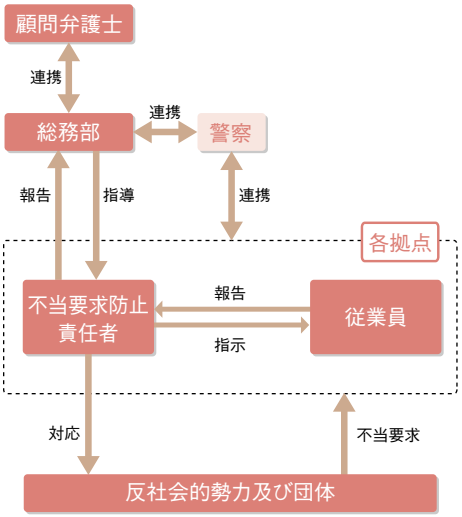
永大産業では、インサイダー取引を未然に防止する目的から「インサイダー取引防止に関する規程」を定め、内部情報の管理や株券等の売買に関する行動基準のあり方を示しています。また「インサイダー取引防止マニュアル」を策定し、朝礼時にマニュアルを復唱して内容を再確認したり、インサイダー取引に関する様々な事例をCD-Rに収めて社内に配付し、従業員の啓蒙活動に力を入れています。

反社会的勢力及び団体に対して毅然とした態度で対応します

永大産業では、反社会的勢力及び団体に対しては毅然とした態度を貫き、断固として対決することが企業の社会的責任を全うするうえで不可欠と考えています。そのための基本方針や具体的な対応策についての詳細を「反社会的勢力排除マニュアル」に定めました。経営トップから従業員一人一人に至るまで、反社会的勢力からの不当・不法な要求に屈することなく、一切の関係を遮断するため、全社一丸となって組織的な取り組みを実践しています。

「反社会的勢力排除マニュアル」基本原則概要

- 反社会的勢力からの不当要求に直接対処する従業員の安全を確保し、組織として対応する
- 不当要求に備え、警察、顧問弁護士等の外部専門機関との連携関係を構築する
- 取引関係を含めて一切の関係をもたない
- 有事において民事と刑事の両面から法的対応を行う
- 反社会的勢力への資金提供は、絶対に行わない



永大産業企業行動憲章

広く社会に貢献する企業となることを目指しています

永大産業では、コンプライアンスの一環として2004年9月から「永大産業企業行動憲章」を制定しています。この憲章は、当社が事業活動を継続する中で最低限遵守すべき事項として、社内はもとより社外にも公表し、企業の社会的責任としてコンプライアンスに対する考え方や姿勢を宣言しています。

永大産業企業行動憲章

行動憲章は9項目から成り立っています。

1.企業活動の目的
「木質加工」と「ステンレス加工」に徹する当社は、高い技術力を活かして高機能、高品質、かつ、安全性にも配慮した商品づくりに努め、地球・社会・人との共生を通じ、豊かな社会の実現に貢献することを企業活動の目的とします。

2.社会規範の遵守
国内外の法令、その他の社会規範を遵守し、公正、透明、自由な競争に基づく企業活動を行っていきます。また、官公庁や各種団体とは健全で正常な関係を保ちます。

3.環境問題への取り組み
省資源・省エネルギーに努め、温室効果ガスの排出抑制を図ります。同時に廃棄物を削減し、3Rを推進することで、循環型社会の発展に貢献します。

4.情報開示
株主はもとより、取引先、地域社会等、企業をとりまくさまざまな関係者とのコミュニケーションを図ります。また、積極的かつ公正に企業情報を開示して、社会からの理解を深めるように努めます。

5.職場環境
従業員一人ひとりの人間性を尊重するとともに、職場においては安全第一を旨とし、各人が働きやすく、能力を十分に発揮できる職場環境を作ります。

6.反社会的勢力との対決
反社会的勢力、団体には毅然とした態度で対応し、社会秩序の安定と維持に努めます。

7.地域・社会への貢献
国や地域の多様性を認識し、国際社会の一員としてその文化や慣習を尊重し、その地域の発展に貢献します。また、良き企業市民として積極的に社会貢献活動に参加します。

8.資産・権利の管理並びに保護
知的財産を含む自己及び他者の資産・権利の価値をよく認識し、それらを公正に使用するとともに厳正に管理・保護します。また、情報の重要性を認識し、適正、かつ厳重な管理を行います。

9.問題解決
本憲章に反する事態が発生したときには、経営者自らが問題解決と再発防止にあたり、社会にも十分理解される形で事態の解決を図ります。また、権限と責任を明確にした上で、自らを含めて厳正な処分を行います。

この憲章の適用対象は、永大産業の役員・社員はもちろんですが、嘱託社員・契約社員・パート社員・派遣社員・さらに業務委託契約等に基づいて永大産業の営業所・事業所に常駐するすべての人に及びます。

:: 社内外への宣言的機能

永大産業のコンプライアンスに関する姿勢を全従業員に宣言するとともに、企業の社会的責任として、広く社会に対し、コンプライアンスに関する姿勢や考え方を宣言しています。
これは当社のホームページにも掲載しています。

:: 行動の指針としての機能

会社が遵守すべき法令及び倫理的事項を明らかにすることで、経営のトップをはじめ、役員、従業員の一人一人が倫理や企業理念に則った行動をするための指針を示しました。
「永大産業企業行動憲章」をより身近なレベルで理解するために、日常の事業活動で頻繁に起こる可能性のある事例を集めて、判断のよりどころとするための事例集を作成して全従業員に配布しています。各々のコンプライアンス責任者は、憲章と事例集を中心に、従業員への教育を行っています。

EIDAI
コンプライアンスカード
カードタイプのものを全従業員に配布して、コンプライアンスへの意識の浸透を図っています。

コーポレートガバナンス

監査・監督機能を強化し経営活動の透明性に努めます

永大産業は、企業価値を高め、社会やさまざまなステークホルダーから信頼されるために、
内部統制システムを含めたコーポレートガバナンス体制の充実が、経営の最重要課題であると考えています。

コーポレートガバナンス体制

永大産業は、2009年6月26日現在で取締役8名、監査役4名（うち社外監査役2名）の体制になっています。コーポレートガバナンス体制充実のために、経営監視機能の強化、経営効率の向上等に取り組むことで、企業価値の向上を目指しています。
取締役の任期は1年としており、経営環境の変化に迅速に対応できる経営体制の構築を図るとともに、年度における取締役の経営責任をより一層明確化させ、株主総会での信任の機会を増やし、株主による経営監視体制を強化しています。
また、取締役会には2名の社外監査役が出席し、専門的な視点や客観的な立場から必要に応じて意見を述べるなど、社外からの監視・監督が十分に機能する体制となっています。さらに、監査役は取締役会の他にも重要な会議に出席し、取締役の職務執行について厳正な監視を行っています。

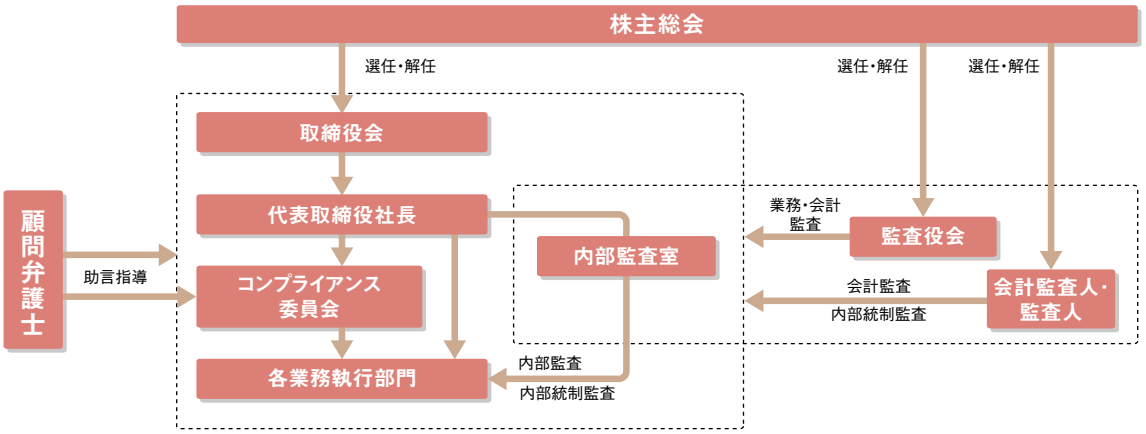
内部統制システムの基本方針

永大産業は、内部統制システムの整備に関する基本的な考え方を「内部統制システム構築の基本方針」として、経営管理体制やリスク管理体制など9項目を定めています。

内部統制システム構築の基本方針

1. 取締役の職務の執行が法令及び定款に適合することを確保するための体制
2. 使用人の職務の執行が法令及び定款に適合することを確保するための体制
3. 取締役の職務の執行に係る情報の保存及び管理に関する体制
4. 損失の危険の管理に関する規程その他の体制
5. 取締役の職務の執行が効率的に行われることを確保するための体制
6. 当社及び子会社からなる企業集団における業務の適正を確保するための体制
7. 監査役の職務を補助すべき使用人に関する体制と当該使用人の取締役からの独立性に関する事項
8. 取締役及び使用人が監査役に報告するための体制その他の監査役への報告に関する体制
9. 監査役の監査が実効的に行われることを確保するための体制

コーポレートガバナンス及び内部統制の体制図



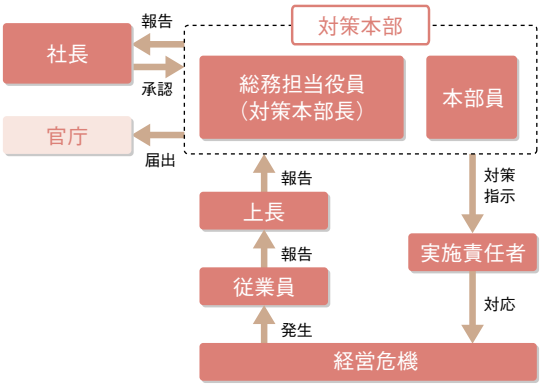
リスクマネジメント

さまざまなリスクに対する危機管理体制の強化を図っています

経営危機管理

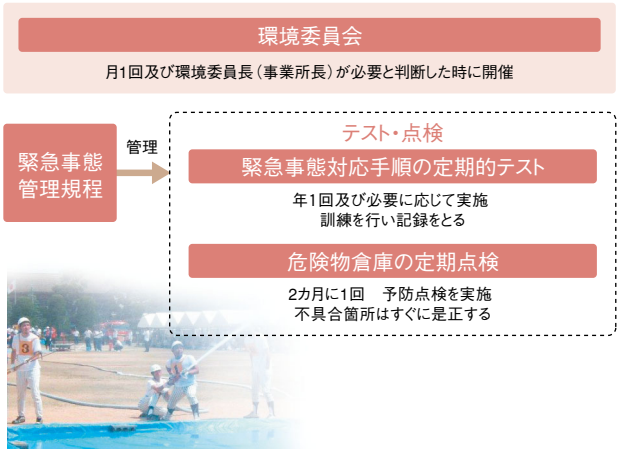
永大産業では、リスク管理意識の向上に取り組んでおり、経営危機発生の回避、リスクの未然の防止、経営危機発生時の損失の最小化を期すため、「経営危機管理規程」を定めて対応しています。
この規程ではすべての従業員は常に経営危機につながる事象の発生防止に努め、これらの発生に対し万全の注意を払わねばならないとしています。万一、経営危機が発生した際には、直ちに対策本部を設置して危機の解決もしくは回避のために全力を尽くすよう定めています。

経営危機管理体制



事業所におけるリスクマネジメント

永大産業では、環境マネジメントシステムに則り、緊急事態が発生または発生する恐れのある場合や、官公庁・地域住民等から緊急要請を受けた場合を想定し、事業所別に緊急事態管理規程を定めています。
各事業所では、この緊急事態管理規程に基づき、近隣に影響を及ぼすと予測される事態や、周囲に公害発生をもたらす施設に対して、あらかじめそのリスクを抽出し、特定しています。これらのリスクを認識したうえで、事態発生の回避につとめるとともに、発生した場合の迅速な対応ができる体制をとっています。



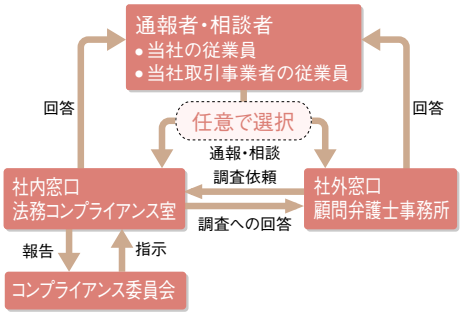
個人情報保護

永大産業では、個人情報保護に関連する法令を遵守し、個人情報を保護することが事業活動の基本であり、社会的責務であると考えています。
安全管理に関する「個人情報保護基本規程」を制定し、基本方針に基づき、取得する個人情報（ウェブサイトから提供された個人情報を含みます）について、個人情報を取扱う部門ごとに管理責任者を置き、適切な管理、監督に努めています。
また、個人情報の提供先との間において、秘密保持契約の締結等の方法により、お客様の個人情報を保護するための適切な管理を実施しています。
さらに、お客様の個人情報への外部からの不正なアクセスや漏洩等を防止するために、セキュリティの維持・強化にも努めています。

● ホームページの「プライバシーポリシー」に詳細を掲載しております。

内部通報者保護制度

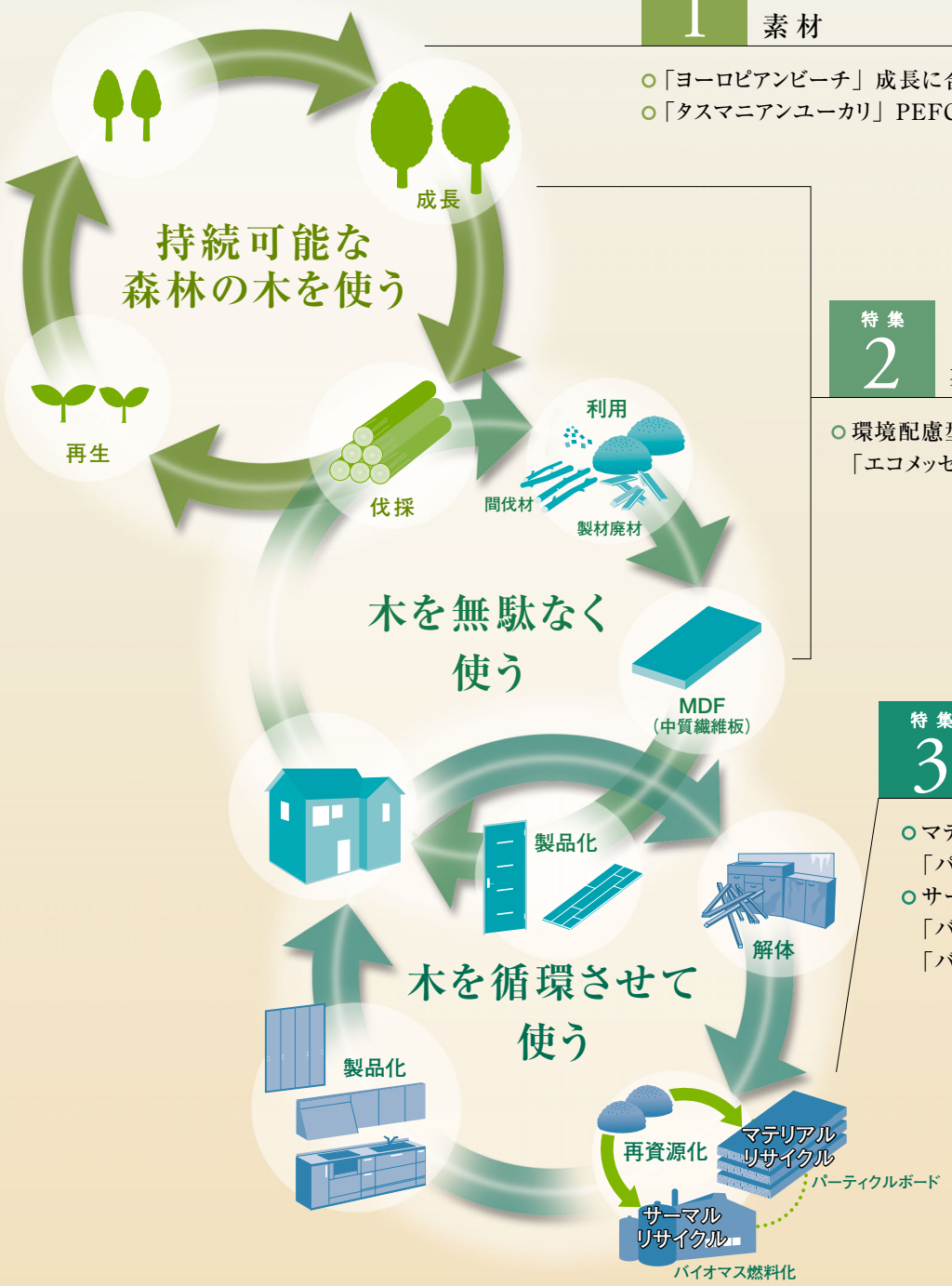
永大産業では、2006年4月施行の「公益通報者保護法」を遵守するために「内部通報者保護規程」を定めています。
通報者・相談者は、会社の中で法令等に違反する行為が生じている、または生じようとしている場合に、社内窓口・社外窓口のどちらにでも通報・相談することができます。
なお、通報者・相談者が通報により不利益な扱いを受けない仕組みを構築しています。



特集 木を活かした環境保全への取り組み

「木」は地球にやさしい資源です
永大産業は、循環の輪を広げていきます

3つの循環の輪



特集 1 素材 ▶P.12

- 「ヨーロピアンビーチ」成長に合わせて計画的に伐採
- 「タスマニアンユーカリ」PEFC認証

特集 2 製品 ▶P.13

- 環境配慮型製品
  「エコメッセージフロア」

特集 3 リサイクル ▶P.15

- マテリアルリサイクル
  「パーティクルボード」
- サーマルリサイクル
  「バイオマス発電」
  「バイオマスボイラー」

特集 1 素材

持続可能な森林の木を使って、よりよい暮らしを実現します

「ヨーロピアンビーチ」 成長に合わせて計画的に伐採

ヨーロピアンビーチの森

ヨーロピアンビーチは200年以上も前から計画的に伐採されている樹種です。柾目・板目にかかわらず美しい木肌が特徴的で、曲げ加工が容易であるため、ヨーロッパでは家具や内装部材の代表的な樹種として知られています。永大産業ではヨーロピアンビーチを、フローリングや室内ドア、収納などに採用しています。

ヨーロピアンビーチは、比較的堅い材質で、フローリングなどに適しています。当社ではヨーロピアンビーチのきめ細やかな美しい木肌を活かして、使い込むほどに味わいが出る空間作りを提案しています。

「タスマニアンユーカリ」 PEFC認証

ユーカリの森林〈写真提供:Forestry Tasmania〉

タスマニアンユーカリは、世界的な森林認証のひとつであるPEFC認証を受けた持続可能な森林資源です。タスマニア州による厳格な森林管理がなされ、将来的にも安定した木材供給ができる仕組みが構築されています。
当社はこのタスマニアンユーカリを原材料にフローリング(エコメッセージフロア)を生産し、環境に配慮した製品への転換を推進しています。

森林は炭素を固定します

森林には二酸化炭素を吸収し、炭素を固定化する公益的機能があります。一方で、森林は木材という再生可能な資源を人間にもたらしてくれます。森林がもつ機能を損なうことなく、木材を利用するためには、その森林が適正に管理され、持続可能であることが重要です。永大産業は持続可能な木材資源の利用を通じて、よりよい暮らしの実現に貢献したいと考えています。

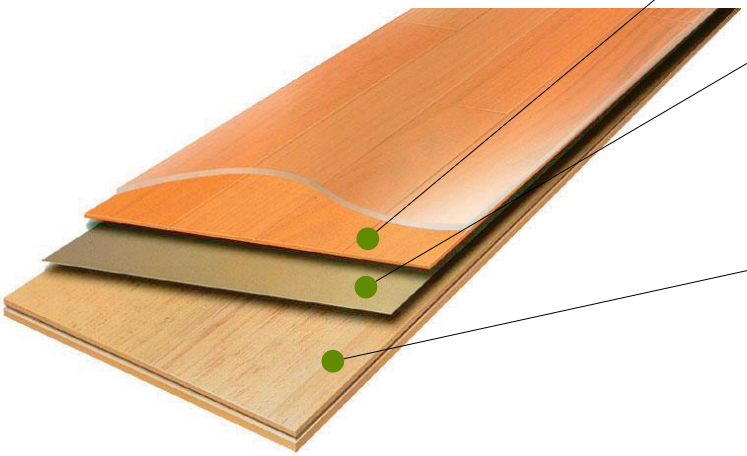
用語解説 **森林認証** 第三者機関によって森林の管理が一定の基準を満たしているかどうかを評価・認証する仕組み。PEFCはこの第三者機関のひとつ。

特集 2 製品

環境配慮型製品を提供しています

「エコメッセージフロア」 環境を最大限に配慮

PEFC-CoC認証フローリング エコメッセージフロア
ECOMESSAGE FLOOR



ヨーロピアンビーチ

ヨーロッパで200年以上前から計画的に伐採されている循環型の木材資源

タフテックベース

国産間伐材を利用したMDF

3.9 GREENSTYLE
サンキュー
グリーンスタイルマーク
A-(1)-060017

PEFC-CoC認証 ユーカリ合板

森林認証を受けたタスマニア産木材を使用

PEFC
PEFC/01-31-22

PEFC-CoC認定書

永大産業では、環境に配慮した製品開発の一環として、2006年11月にフローリング製造の分野で初めてPEFC−CoC認証を取得しました。2007年6月に発売を開始した環境配慮型製品「エコメッセージフロア」は、基材（合板）にPEFC認証ユーカリ材を、中間層にはMDF（タフテックベース）を採用しました。このMDFは国産材の使用が証明された製品として「サンキューグリーンスタイルマーク」を取得しています。また、表面の単板には、ヨーロッパで持続可能な森林管理がなされているヨーロピアンビーチを用いています。これによりフローリングを構成する主要材料のすべてが環境に配慮した材料となりました。

「エコメッセージフロア」は、耐傷性などの機能性と、環境への配慮を両立させた画期的な製品です。

環境配慮型製品の拡充を図るためには、ボリュームゾーンでの普及が必要との考え方から、2008年には、さらにコストパフォーマンスを追求した「エコメッセージV」などの新製品を発売しました。

当社は2011年度中にフローリングの80%を環境配慮型製品とする方針です。

VOICE 従業員の声 品揃え充実で手ごたえ

環境配慮型フローリングの品揃えを充実させたことにより、私たちの環境に対する考え方を、広く伝えることができたという手ごたえを感じています。

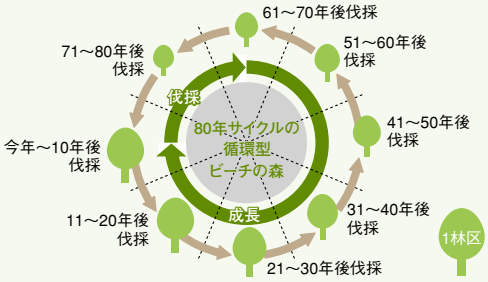
建材事業部 建材課
寺西由歌里

用語解説 | MDF 中密度繊維板（Medium Density Fiberboard）のこと。木材を繊維状にほぐし、接着剤を混ぜて熱圧成形した木質材料。

ヨーロピアンビーチ

ヨーロピアンビーチの循環型森林経営

ビーチ材は、計画的に伐採されており、伐採適齢は80年と言われる形成サイクルで循環型森林経営が行われています。



タフテックベース

地球温暖化防止に貢献する国産材の利用

サンキューグリーンスタイルマークは、林野庁が推進する「木づかい運動」を象徴するロゴマークです。森林が有する多様な公益的機能を維持するため、国産材を使用した製品に表示され、国産材の利用拡大を図っています。

PEFC-CoC認証ユーカリ合板

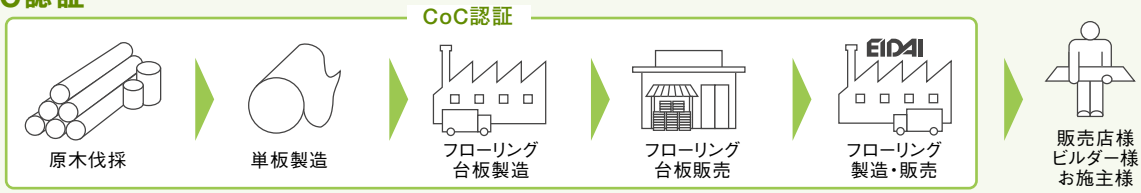
適切な管理の下で伐採された森林材を使用

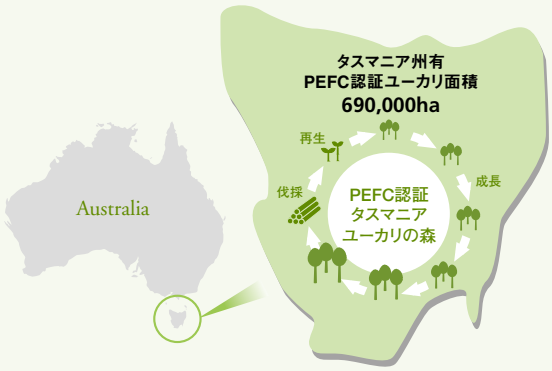
タスマニアンユーカリはPEFCの認証材であり、将来的にも有望な森林資源です。またタスマニアンユーカリを原材料とした合板はCoC認証を取得しており、適切な管理の下で生産されていることが証明されています。

森林認証制度（PEFC認証）

写真提供:Forestry Tasmania

CoC認証





タスマニア森林面積	タスマニア州有PEFC認証森林面積	タスマニア州有PEFC認証ユーカリ面積
3,350,000ha	1,450,000ha	690,000ha

（タスマニア州有PEFC認証ユーカリ伐採可能区域には、保護・伐採制限区域を含みません。）
2005年、Forestry Tasmania調べ

VOICE 従業員の声 環境に配慮した資材の開発に注力

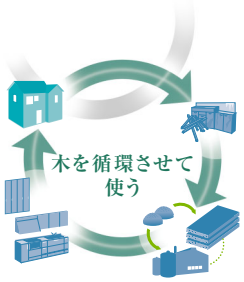
原材料の持続可能な調達を考慮しながら、タスマニアンユーカリに続く第2、第3の環境に配慮した資材の開発に力を入れる考えです。

建材事業部 建材開発室
宮内正文

用語解説 | **PEFC-CoC認証** CoCとは、Chain of Custodyの略。PEFCの認証材が製品の中に一定基準以上使用され、かつ製造から流通までの全過程で認証材以外の材が混入していないことを証明する認証制度。

特集 3 リサイクル

木を活かすリサイクル活動を行っています



マテリアルリサイクル　「パーティクルボード」

Material Recycle

不用になった木質製品でパーティクルボードを生産し、循環型社会の形成に寄与しています

マテリアルリサイクルを優先

「木を燃やし、二酸化炭素を発生させても、もともと大気中に存在した炭素を木が成長過程で取り込んだものであるため、二酸化炭素の総量に影響はない」というカーボンニュートラルの考え方があります。しかし、永大産業では古くなった木製品も大切な木材資源として、「マテリアルリサイクル（再生利用）」を優先させています。「マテリアルリサイクル」することにより、炭素をいつまでも製品内に固定しつづけることができます。パーティクルボードはこのような「マテリアルリサイクル」の典型的な製品です。

リサイクル可能な化粧パーティクルボードを生産

一般的な化粧パーティクルボードの中には、使用している材料によってはマテリアルリサイクルできない製品も少なくありません。永大産業の化粧パーティクルボードは、耐傷性、耐汚染性に優れた強化紙を用いることで、古くなって使用できなくなっても、再び原材料としてマテリアルリサイクルすることが可能です。このように当社では、再生利用を念頭に置いた製品を開発することにより、循環型社会の形成に寄与しています。

パーティクルボード新市場を開拓

製品に炭素を固定させ続けるには、住宅用部材として長期間使用されるのが望ましい姿です。永大産業は、屋根の野地板に適した建築用パーティクルボード「ルーフ　ベーシック」を開発し、その普及に努めています。「ルーフ　ベーシック」は、釘の保持力（釘引き抜き、側面抵抗、釘頭貫通）を高め、合板と同等の耐水性と摩擦抵抗力を確保しています。

VOICE 従業員の声

新製品の開発に取り組みます

当社は強化紙を用いた化粧パーティクルボードのトップメーカーです。より一層品質の向上に力を入れるとともに、市場のニーズに対応した新しい製品の開発に取り組んでいきたいと考えています。

パーティクルボード事業部 商品課　林信人

用語解説

パーティクルボード　木材のチップを原料に、接着剤を用いて熱圧成形した木質材料。
マテリアルリサイクル　使用済みの製品などを回収して、新しい製品の材料や原料に使用すること。

サーマルリサイクル 「バイオマス発電／バイオマスボイラー」

バイオマス発電でサーマルリサイクルを行い、事業所のエネルギーをまかなっています

バイオマス発電で、資源を有効利用

不用となった木質製品のマテリアルリサイクルを優先させても、中にはそれが不可能なものもあります。永大産業では、それらを発電用のバイオマス燃料として活用する「サーマルリサイクル」を行い、資源の有効利用を進めています。

今日でこそバイオマス発電が脚光を浴びていますが、永大産業では1993年11月、山口・平生事業所にいち早くバイオマス発電（1号機）を導入しました。さらにその後も設備投資を行い、1998年4月からは、より大きな2号機が稼動しました。これらの電力（合計1,650キロワット／時）は、山口・平生事業所が使用する全電力の約21%（2008年度）にあたります。

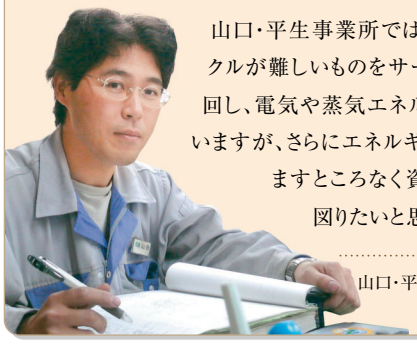
バイオマス発電所

脱・化石燃料を推進

製品を生産するには、燃料を消費してエネルギーを作り出さねばなりませんが、可能な限り化石燃料の消費を抑え、温室効果ガスの排出を抑制しなければなりません。敦賀事業所のパーティクルボード工場では2006年11月、パーティクルボードの成型プレスに必要な燃料をC重油からバイオマス燃料に変更するため、設備の改良を行いました。これにより、成形プレスの工程で消費していたC重油を、稼働前に比べ73.4%（年間）も削減しました。

蒸気式熱交換器

VOICE 従業員の声 あますところなく資源を利用



山口・平生事業所では、マテリアルリサイクルが難しいものをサーマルリサイクルに回し、電気や蒸気エネルギーを取り出していますが、さらにエネルギー効率を上げ、あますところなく資源の有効利用を図りたいと思っています。

山口・平生事業所 生産技術課
山田芳憲

用語解説

バイオマス発電　生物由来の資源（石油などを除く）を用いて発電すること。
サーマルリサイクル　廃棄物を焼却処理する時に発生する熱エネルギーを回収・利用すること。

環境方針

環境方針で4つの企業活動を定めています

永大産業では90年代から、部門や事業所単位で、個別に環境保全活動を本格化させましたが、21世紀を見据えたビジョンの中で、全社的な取り組みが必要との判断から、2000年6月、「永大産業の環境問題への姿勢」を制定しました。

2007年6月には「環境方針」を定め、当社の環境に対する姿勢を明文化しましたが、より一層環境に対する取り組みを強化し、社会的責任を果たす狙いから、2008年10月、「環境方針」を一部改正しました。

環境方針

[基本方針]

永大産業は、地球、社会、人との共生を通じて、
環境保全に取り組み、なお一層の社会貢献を目指します。

[行動指針]

1 企業活動

1 温室効果ガス削減

エネルギー、水資源を有効に活用し、温室効果ガス排出量の削減に努めます。

2 3Rの推進

Reduce（発生抑制）、Reuse（再使用）、Recycle（再利用）の3Rを推進し、循環型社会の発展に寄与します。

3 化学物質の管理・抑制

管理基準を設定し、環境負荷の大きな物質の使用・排出を抑制します。

4 環境に配慮した木材調達

森林認証材、中でも植林木を積極的に採用し、環境に配慮した資材の比率を高めます。

2 社会的責任

法令を遵守し、地域との連携を深め、広く社会から評価される企業を目指します。

3 情報の開示

企業活動に関する情報は随時、開示します。

用語解説

3R　廃棄物のReduce（発生抑制）、Reuse（再使用）、Recycle（再利用）を意味する英語の頭文字をとって3Rと言い、廃棄物をできるだけ出さずに循環型社会をつくるための基本的な考え方。

地球温暖化防止への取り組み

温室効果ガス削減のための具体的な数値目標を設定しています

世界的な地球温暖化防止の取り組みとして、1997年に京都議定書が採択されました。この中でわが国は、2012年までに1990年度比で6%の温室効果ガス削減を公約しています。また、現在では2013年以降のポスト京都議定書についても議論が始まっています。

永大産業では、地球温暖化防止に取り組むため、2008年に「温室効果ガス削減委員会」を発足させました。委員会を中心に社内の削減状況や今後の計画等を検討した結果、当社は全社的にデータ収集可能な2006年度を基準年度とし、2011年度までに12%の温室効果ガス削減を目指します。なお、当社製造部門における温室効果ガスの排出量は、1990年度と2006年度ではほぼ同じ水準でした。

2008年度は2006年度比で全社では11%減、製造部門では7%減となっています。

全社合計で12%の削減が目標です

温室効果ガス削減目標一覧表

（単位:t-CO_2）

温室効果ガス排出量	基準年度（2006年度）	目標年度 2011年度	目標年度 2006年度比
製造	61,639	52,400	-15%
山口・平生	30,210	23,000	-24%
敦賀	28,266	26,600	-6%
大阪	3,163	2,800	-10%
物流	22,115	21,000	-5%
営業	2,366	1,900	-17%
本社	1,620	1,500	-6%
合計	87,740	76,800	-12%

温室効果ガス削減対策

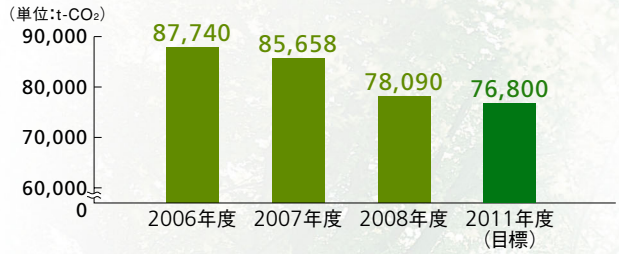
製造
- 設備対策:省エネ対策
  - ボイラーの燃料からバイオマス燃料を木粉に変更
  - コンプレッサーの効率運転
  - 高効率照明に変更
- 効率化:業務改善による生産効率のアップ

物流
- 生産拠点の現地化による配送の合理化
- 幹線輸送の環境に優しい貨物輸送方式の推進
- 積載効率アップ

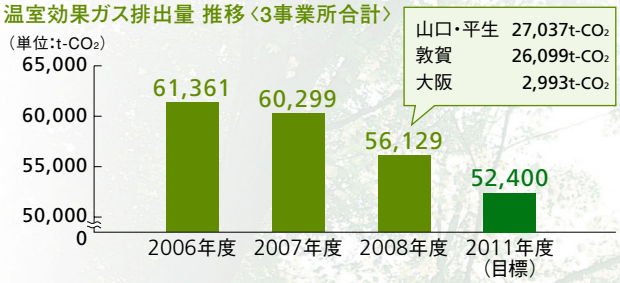
営業
- 車両台数の削減および車両の小型化
- エコドライブによる燃料消費抑制
- オフィスにおける節電の強化・残業の削減

本社
- オフィスにおける節電の強化・残業の削減
- 車両台数の削減および車両の小型化およびエコドライブ

温室効果ガス排出量 推移〈全社〉



温室効果ガス排出量 推移〈3事業所合計〉



VOICE 従業員の声

温暖化防止とコスト削減を両立

生産設備を見直し、いかにエネルギーを抑えて地球温暖化防止につなげるか、またコストを下げて利益を生むラインとするか、日々考えています。

山口・平生事業所
生産技術課
熊野秀昭

用語解説

温室効果ガス 太陽熱を地球に封じ込め、地表を暖める働きをもつガス。京都議定書では、二酸化炭素、メタン、一酸化二窒素など6物質が削減の対象となる温室効果ガスと定められた。

マテリアルバランス　環境会計

マテリアルバランス

永大産業では、様々な製品を生産するうえで必要な資材やエネルギーの投入量（INPUT）と、その成果としての製品の量および廃棄物の排出量（OUTPUT）の管理を徹底し、少しでも環境負荷の低減につながるよう努めています。

環境会計

全社的な環境保全活動を行うとともに、より効果的な環境経営を目指す目的から、環境会計で環境保全コスト、および経済効果を算出しています。

INPUT

エネルギー

購入電力	68.5千MWh	前年度比　7.9%減
A重油	20kl	前年度比 31.0%減
B・C重油	5,613kl	前年度比　5.4%減
LPG、軽油等	18千GJ	前年度比　6.7%減
バイオマス燃料		
ボイラー用	326千GJ	前年度比　9.4%減
発電用	155千GJ	前年度比 12.5%減

水

236千m³

上水	210千m³	前年度比 16.9%減
工業用水	16千m³	
地下水	10千m³	

製造

生産

大阪事業所

敦賀事業所

山口・平生事業所

環境会計

分類		主な取組の内容	環境保全コスト
事業エリア内活動	公害防止	大気汚染防止	99
		水質汚濁防止	18
		その他	1
	地球環境保全	地球温暖化防止及び省エネルギー	69
	資源循環	歩留改善による資源利用効率の向上 工程内不良品、副産物の社内再利用 廃棄物のリサイクル 廃棄物の適正処分	165
小 計			353
上・下流域活動		グリーン調達（CoC認証材の調達　など） サプライヤーの環境管理活動支援 環境に配慮した製品の提供 省資源型製品梱包材及びリターナブル梱包材の利用	31
小 計			31
管理活動		環境マネジメントシステムの整備・運用 社内環境教育 事業所の緑化、周辺地域の美化活動	25
小 計			25
研究開発活動		環境負荷の低い素材を使用した製品の開発 CoC認証材や国産木材を活用した製品の開発 製品リサイクル性向上の研究・開発 製造段階におけるVOC低減化の研究 製造段階における省エネルギー化の研究	95
小 計			95
環境損傷対応		水質関連補償金	3
小 計			3
合 計			507

- 集計範囲：大阪事業所、敦賀事業所、山口・平生事業所
- 2008年度の環境保全コストは全て費用額で計上しています。
- 環境保全コストは5億700万円、経済効果は8億3200万円でした。
- 参考にしたガイドライン：環境会計ガイドライン2005（環境省）
- 対象期間：2008年4月1日～2009年3月31日
- 集計方法：社内自主算定方法に基いて集計

研究開発

環境会計

（単位：百万円）

	環境保全コスト	経済効果
研究開発活動	95	0

用語解説　マテリアルバランス　企業が事業活動を行うために投入する資源・エネルギー量、および排出する環境負荷物質の量（廃棄物を含む）をあらわす。

物流 OUTPUT

（単位:百万円）
経済効果
15
713
70
799
34
34
0
0
0
0
0
0
832

製品輸送

トラック

船舶

鉄道

モーダルシフト

製造

温室効果ガス
56,129千t-CO_2
CO_2 前年度比 7.0%減

排水 規制遵守率 100%
BOD 25.0mg/l
COD 44.8mg/l

PRTR対象物
総排出量 4,108.9t
大気へ 3.5t
製品へ 4,104.7t
廃棄 0.7t

汚染ガス 規制遵守率 100%
SOx 2.9m³N/h
NOx 300ppm

廃棄物
最終処分量 901t

※1 マンション直貼用フローリングを除く
（2007年度環境配慮型フローリング率実績 3%）

用語解説

環境会計 事業活動における環境保全コストとその経済効果を、可能な限り定量的に測定し、伝達する仕組み。
PRTR 化学物質が大気中に拡散、あるいは事業所の外に運び出される場合のデータを把握し、公表する仕組み。

環境への取り組み

各部門で様々な環境負荷低減策を実施しています

合法的な木材調達を推進

全社

永大産業は、基本理念で地球との共生を掲げ、この中で持続可能な木材資源の利用推進を明示しています。
当社はそれに基づいて、持続可能な森林管理が証明されている森林認証材を、優先的に購入したり、また適正に管理された植林木の使用比率を高める努力を継続しています。さらに合法性を明らかにできるよう、取引先と協力して、産地・加工・流通経路に関するトレーサビリティーの確保に注力しています。

モーダルシフトの取り組み

物流部門

永大産業ではトラック主体の貨物輸送を見直し、鉄道や海運を組み合わせた環境に優しい貨物輸送方式（モーダルシフト）に力を入れています。山口・平生事業所では、首都圏までの一部輸送を、このモーダルシフトで行っています。同事業所では鉄道貨物の利用に加え、2008年6月からは、船を使った輸送を開始しました。

VOICE 従業員の声

物流の効率化を図ります

当社のモーダルシフトは、まだまだ緒についたばかりですが、2008年度は全体の物流量が減少する中、モーダルシフトによる輸送量は着実に伸びました。これからもより物流の効率化を図る考えです。

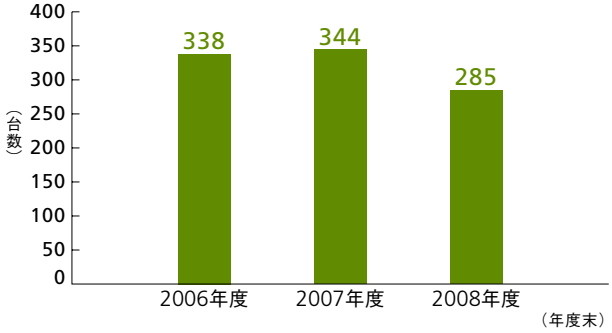
山口・平生事業所 物流センター
林 博巳

車両台数の適正化を実施

全社

永大産業では、温室効果ガスを削減する目的から、全社を挙げて車両台数の適性化を推進しています。その結果、2008年度は前年比で59台の車両を削減しました。また更新を迎える社用車は、同クラスでより燃費のよい車両、もしくは小型車に変更し、ガソリンの消費量の削減に努めています。

永大産業 車両台数



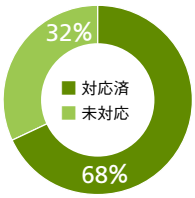
用語解説 | トレーサビリティー　原料調達から最終消費もしくは廃棄の段階までの過程を明確化し、さかのぼって確認できるようにすること。

グリーン購入を推進

事業所

永大産業はグリーン購入法に基づき、大阪、敦賀、山口・平生の3事業所で、3つの環境対応商品マークのうち、いずれかに該当する事務用品等を優先的に購入しています。2008年度のグリーン購入比率（3事業所合計）は68%でした。

グリーン購入比率（3事業所合計）



環境対応商品マーク

「エコマーク」
（財）日本環境協会エコマーク事務局が制定

「グリーン購入法適合マーク」
グリーン購入法の対象品目およびその基準に合致する商品に表示

「エコ商品ねっと掲載マーク（＝GPN db）」
グリーン購入ネットワークが運営するデータベースに掲載されている商品

VOICE 従業員の声　モノづくりは環境への配慮から

事業所では、おもに文房具や事務用品等のグリーン購入を進めてきましたが、今後はそれ以外の商品にも目を向け、全体的なグリーン購入比率を、現状より少しでも引き上げていきたいと思っています。

敦賀事業所 総務課　岡田 強

エコドライブ活動を本格化

全社

永大産業では、さらなる二酸化炭素の排出抑制や排気ガスの削減を図るため、これまで各部門で個々に行っていたエコドライブを、2009年から全社的に取り組むことにしました。特に社用車を多用する営業部門では、エコドライブのポイントをまとめたテキストを用いて社内研修を実施し、ガソリンの消費量を削減するとともに、安全運転にも配慮するよう努めました。

VOICE 従業員の声　地球と人に優しいエコドライブを実践しています

私たち営業部門は仕事の性格上、他部門に比べて社用車を頻繁に使いますので、ガソリンの消費を抑えるための努力は欠かせません。エコドライブを通じて地球に優しく、また同時に安全運転を心がけ人に優しくありたいと思っています。

大阪営業所　若井弘二

ライトダウンキャンペーンに参加

全社

環境省は地球温暖化防止を目的に、2003年から企業のライトアップ施設や家庭の電気を消すよう呼びかける「CO_2削減／ライトダウンキャンペーン」を実施しています。永大産業は2008年からこのキャンペーンに参加し、夜間照明設備のある本社、営業所、事業所でライトダウンを実施しました。2009年はさらに事業所内の一部の屋外照明も消灯しました。当社はこうした活動への積極的な参加を通じて、さらなるエネルギーの有効利用や環境保全活動に、力を入れていきたいと考えています。

用語解説　**グリーン購入法**　正式には「国等による環境物品等の調達の推進等に関する法律」、2001年4月施行。国などが率先して環境配慮製品を購入することで、それらの市場拡大を図るのが狙い。

環境マネジメントシステム

ISO14001を全事業所で取得しています

永大産業では、環境保全活動を推進するために、環境マネジメントシステム（EMS）の取り組みを活動の基本と位置づけ、各事業所で目的･目標を定め、継続的な改善に取り組んでいます。

ISO14001認証取得

永大産業では、環境マネジメントの国際規格であるISO14001認証を、2000年に敦賀事業所が取得したのを皮切りに、2003年までに3事業所の全てで認証の取得し、同規格に準拠した環境マネジメントシステムを構築しています。

各事業所ではISO14001規格に基づくPDCAサイクル（計画→実施及び運用→点検→マネジメントレビュー）を活用することで、環境パフォーマンスの継続的改善を努めていきます。

大阪事業所

- 認証取得日：2003年10月31日
- 適用規格：JISQ 14001:2004/ISO 14001:2004
- 登録番号：JMAQA-E444
- 製品
  - ・システムキッチン　・室内ドア　・クロゼット
  - ・システム造作材　・シューズボックス
- 住所：大阪府堺市

敦賀事業所

- 認証取得日：2000年 2月29日
- 適用規格：JISQ 14001:2004/ISO 14001:2004
- 登録番号：JMAQA-E094
- 製品
  - ・フローリング　・パーティクルボード
  - ・一体型床暖房　・室内階段セット
- 住所：福井県敦賀市

山口･平生事業所

- 認証取得日：2001年12月20日
- 適用規格：JISQ 14001:2004/ISO 14001:2004
- 登録番号：JMAQA-E259
- 製品
  - ・フローリング　・パーティクルボード
- 住所：山口県熊毛郡平生町

環境監査体制

永大産業は環境マネジメントシステム（EMS）を継続的に改善するために、ISO14001の規定に基づいて内部監査を行っています。内部監査は、社内資格である「内部監査員」の試験合格者およびISO担当者で実施しています。当社では内部監査員の育成計画を立て、環境教育を実施するとともに、内部監査員へのフォローアップ研修を行うことで、監査体制の向上を図っています。また外部の審査機関からの評価も参考にして、さらなる環境改善活動に結びつけています。

VOICE 従業員の声

目標の達成に努力

環境負荷の低減を図りながら、価値のあるモノづくりを行っていくことが、私たちに課せられた使命だと思っています。ISO14001で定めている各目標の達成に向け、日々努力を積み重ねていきたいと考えています。

敦賀事業所 生産技術課
Tさん

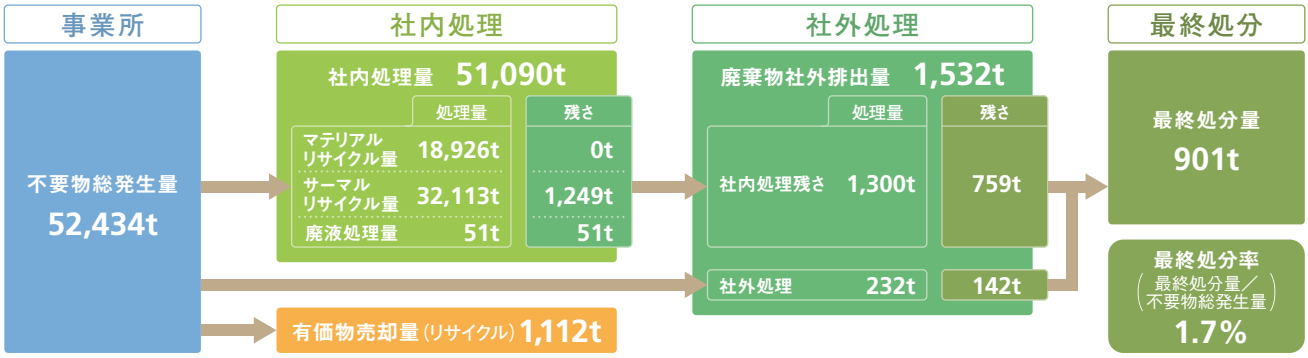
用語解説　EMS　Environmental Management System（環境マネジメントシステム）の略。国際規格はISO14001。

産業廃棄物削減への取り組み

資源の有効利用、および再資源化を図っています

ゼロエミッション

永大産業では資源の有効利用を図るとともに、リサイクルを推進することによって、環境に負荷を与えないよう産業廃棄物の削減に取り組んでいます。



対象:3事業所

『ゼロエミッション』とは、使用する資源を最小限に抑えて廃棄物を削減し、かつ発生する廃棄物の再資源化を進めることで、廃棄物をゼロとする考え方を指します。一般に製造業の場合、最終処分率を2%以下とすることを目安にしており、測定の結果、永大産業の最終処分率は1.7%でした。

分別活動

大阪事業所では2004年4月にリサイクルセンターが設置されました。2007年2月には建屋を移動し、さらに資源の有効活用に力を入れています。

大阪事業所　新・リサイクルセンター(分別施設)

リサイクル資源の分別・有効活用を徹底しています。
回収された廃棄物は25品目に分別されます。
(廃プラ4・紙類10・ペットボトル・電線・アルミ・ステンレス など)

有効利用

大阪事業所では生産ラインから発生する木質ボードの端材などを用いて、当社製品のための配送用パレットと桟木を作り、廃棄物のさらなる削減に努めています。このパレットは取引先から適宜回収し再利用しますが、再利用が不可能なものについては、パーティクルボードの原材料として、有効利用を図っています。

パレット、桟木を生産

VOICE 従業員の声

限りなく廃棄物をゼロに

混ぜたままだと廃棄するしか方法はありませんが、きちんと分別すれば、まだまだ資源となるものがたくさんあります。社内での再資源化を推し進め、限りなく廃棄物をゼロに近づけたいと思っています。

大阪事業所 業務改革室
萱村俊介

用語解説

産業廃棄物　建設業、製造業、サービス業など全ての事業活動に伴って生じた廃棄物を指し、汚泥や廃油など20種類と、輸入された廃棄物がある。

お客様相談センター

お客様の相談にスピーディ、適確に対応します

お客様相談センターの取り組み

永大産業ではお客様の声を直接取り入れ、業務の改善、新たな製品開発につなげる目的から、社内に「お客様相談センター」を設置しています。当センターには現在、経験豊かな5名のスタッフが常駐し、月間約1,000件を超えるご相談を受け付けています。

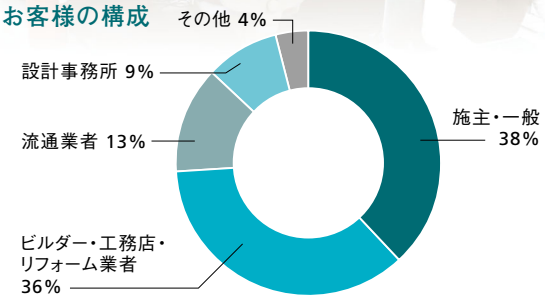
当センターは1998年11月から業務を開始し、これまでに受け付けたお問い合わせ内容を分析して、お客様に迅速かつ丁寧に回答できるよう、よくあるご質問等のマニュアル作り、ホームページへの開示を進めてきました。また、相談内容を「週報」にまとめ、全社の業務改善や製品開発に役立てています。

お客様相談センター

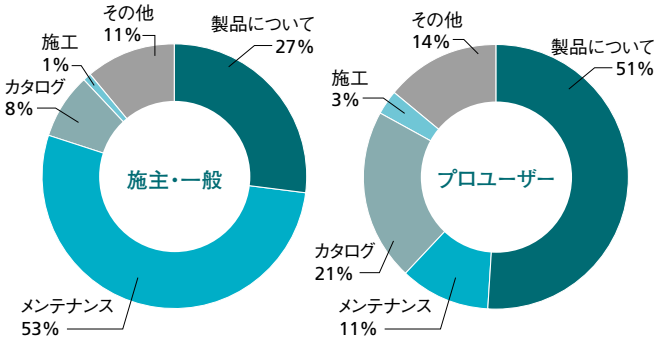
0120-685-110

受付時間　平日9:00～19:00　土日祝 9:00～18:00
休 業 日　年末年始
E-mail　cs@eidai-sangyo.co.jp

お客様の構成

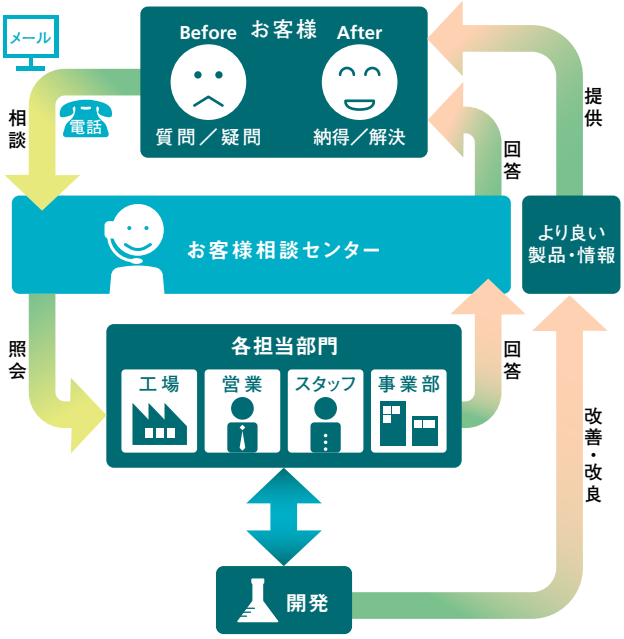


お問い合わせ内容



お客様の構成は、40%が施主または一般、60%がビルダーや流通業者、設計事務所といったプロユーザーの方々です。2008年度のお問い合わせ内容をみると、施主または一般のお客様は、「メンテナンス」に関わる事柄が53%と最も多かったのに対し、プロユーザーのお客様は、「製品について」に関する事柄が51%を占めました。

お客様の相談フロー図



VOICE 従業員の声

お客様のことを第一に考え、対応しています

お客様からのお問い合わせに対しては、ホテルのコンシェルジュのようなお待たせしない、お客様目線で考える、さわやかに応対することを心がけています。

事業推進部 お客様相談センター
酒元祐江

ユニバーサルデザイン

誰にでも使いやすいデザインを製品に反映させています

ユニバーサルデザイン（UD）とは

ユニバーサルデザイン（Universal Design）とは、年齢や性別を問わず、誰もが使いやすいデザインのことです。バリアフリーのように、段差などの障壁をなくして高齢者などの特定の人に対応する考え方より、広い範囲の視点で社会を考えていく進んだデザインといえます。

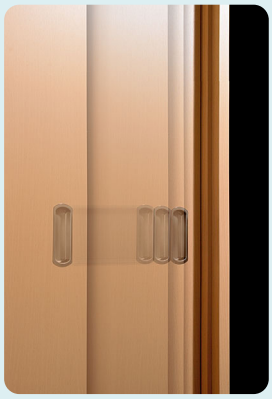
UDの7つの原則

1 誰にでも使用できるもの
2 使う上で柔軟に使えること
3 使い方が簡単で判りやすいこと
4 必要な情報が容易に伝わること
5 間違えても危険につながりにくく安全であること
6 少ない力で効率よく快適に使えること
7 使い手の体格や姿勢、使用状況にかかわらず操作がしやすいスペースや大きさにすること

永大産業の取り組み

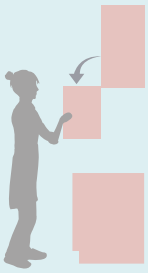
永大産業では、ユニバーサルデザイン（UD）の7つの原則をベースに、安心、安全、快適という考え方に加え、健康、経済性、耐久性、環境への影響などの条件も考慮した製品開発を行っています。

ユニバーサルデザイン製品の一例



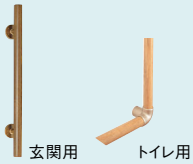
ファインモーション機構
室内ドアの引き戸やキッチンの引き出しなど、自動的にブレーキがかかり、ゆっくり静かに閉まります。

プルダウン収納
手の届かないところや、重たいものでも、目の高さで出し入れができるのでラクに収納できます。



サポートカウンター
調理の場所が広がります。必要のないときには収納でき場所をとりません。

マルボ
廻り階段部や玄関などの安全性を高め、みんなが使いやすい手すりです。



VOICE 従業員の声

誰にでも使いやすい製品づくりを

手すりについて、体を支える機能だけでなく、使い勝手を向上させる提案を行っています。住宅内で事故が多い階段室での事故を防止するため、今後も誰にでも使いやすい製品づくりに取り組みます。

建材事業部 階段課
水本博詞

品質管理

製品を通じてお客様に安心と満足を提供しています

お客様に安心・安全な製品を提供するためには、全社的な品質管理体制の構築とその運用の徹底が不可欠です。永大産業ではこのような品質マネジメントシステム（QMS）の考え方に基づき、「お客様に安心、信頼、満足していただける製品づくり」を推進しています。

:: 品質基本方針

永大産業では、お客様の期待やニーズにあった製品の開発と、お客様がご使用になって満足していただける製品の提供を目指して品質基本方針と品質基本目標を定めています。また、より質の高いサービスをお届けするため、あらゆる面で継続的な改善を行い、お客様の信頼にお応えします。

品質基本方針
「お客様に対し安心、信頼、満足をしていただける製品を提供し続ける。」

品質基本目標
「お客様のニーズに適合しないものを創らない、作れない、流さない。」

:: 品質管理体制

永大産業では、製品品質の信頼性を確保するため、設計、製造、出荷における品質の安定と向上に努めています。品質の向上にあたっては、「品質管理規程」を始めとした諸規定によって品質管理の方法を厳格に定めるとともに、品質管理を適正かつ効果的に行うことができるよう、品質管理委員会を設置して全社的、総合的な視点で品質に関する指導を行っております。
さらに、様々な部会を設けてお客様のご意見や製品に対するお問い合わせについての検討を行い、品質の向上に取り組んでいます。

:: ISO9001 認証取得

永大産業では、品質マネジメントの国際規格であるISO9001認証を3事業所全てで取得し、同規格に準拠した品質マネジメントシステムを構築しています。
各事業所ではISO9001規格に基づくPDCAサイクル（計画→実施及び運用→点検→マネジメントレビュー）を活用することで、品質パフォーマンスの継続的改善に努めています。

大阪事業所	2001年8月	JMAQA-1103取得
敦賀事業所	2001年7月	JMAQA-1090取得
山口・平生事業所	2005年4月	JMAQA-1908取得

:: MSDS制度

MSDS（Material Safety Data Sheet ＝製品安全データシート）制度とは、指定化学物質及びそれらを含有する製品を他の事業者に譲渡・提供する際、その性状及び取扱いに関する情報の提供を義務付ける制度です。この制度に基づき、永大産業では接着剤・塗料メーカー等からMSDSの提供を受けており、指定化学物質等の適正な管理、把握を行っています。

化学物質等安全データシート

1　化学物質等及び会社情報

2　組成、成分情報

製品安全データシート

VOICE 従業員の声

品質管理の重要性を再認識

品質の管理には普段から気を配っていますが、特に毎年11月は、品質管理バッジを着用し、ISO手帳に書き込んだ自らの目的・目標を読み返して、品質の維持管理の重要性を再認識しています。

山口・平生事務所 総務課
戸次雅子

用語解説
ISO　国際規格認証機構による国際統一規格。ISO9001が品質マネジメントシステム、ISO14001が環境マネジメントシステムに関する規格を指す。

:: VOC（揮発性有機化合物）について

VOC（揮発性有機化合物）は、室内空気汚染やシックハウス症候群などの原因として、大きな社会問題となっています。永大産業では健康で安全な住空間を提供するため、VOC低減対策を実施し、厚生労働省が定めた室内における濃度指針値よりも、さらに安全性の高い製品をお届けできるよう努力しています。

- 永大産業のVOC対策は、ホームページの【環境について－シックハウス対策】に掲載しています。
- 濃度指針値とは、厚生労働省が「人がその化学物質の示された濃度以下の暴露を一生涯受けたとしても有害な影響は受けないであろう」との判断により設定された値。現在、13物質について指針値が公表されています。

:: ホルムアルデヒドについて

F★★★★

マーク表示をカタログ等にしています。

建築基準法ではシックハウス症候群を防止するために、ホルムアルデヒドの放散量の少ない建材を使用するとともに、換気により室内の化学物質濃度を低減するよう義務付けています。永大産業の製品は、ホルムアルデヒド発散等級の最上位規格（F☆☆☆☆）であり、建築確認の申請時に使用面積計算が不要な規制対象外の製品です。

- 「大臣認定書」は、ホームページ【環境について－シックハウス対策】からダウンロードできます。

:: GHSへの対応

GHS（Globally Harmonized System）とは、化学品を危険有害性により分類し、その情報を一目で判るラベルで表示したり、MSDSに記載したりする場合の世界統一ルールを指します。国連は2003年、このルールへの対応を世界に勧告し、日本でも化学物質の管理に関わる法律が改正されました。永大産業は法律に則って、事業所における災害防止や労働者の安全に努めています。

ラベル表示

:: ホルムアルデヒド以外のVOCについて

低VOC

マーク表示をカタログ等にしています。

永大産業の製品は、溶剤系塗料を水性塗料に切り替えるなどVOCの低減化を図っており、厚生労働省の室内濃度指針値で対象となっている物質を原材料に使用していないことをMSDS（製品安全データシート）等で確認しています。

MSDS等で使用が確認できないものは室内濃度指針値を準用し、小形チャンバー法（JIS A1901、A1902-1）に準拠した測定方法により、放散量の確認をしています。

- 2009年10月以降に「4VOC基準適合」の表示を始めます。
- 業界で統一した自主表示制度に基いて、建材などに含まれる4種類のVOC（トルエン、キシレン、エチルベンゼン、スチレン）が、基準値以下の時に「4VOC基準適合」と表示できます。
- 小型チャンバー法とは、小型チャンバーと呼ばれる容器を用い、その中に入れた試験材料の化学物質の放散量を評価する方法を指します。

測定装置（小形チャンバー）

VOICE 従業員の声　安心・安全な室内空間を提供

総合研究所では各事業所で生産されたVOC放散量測定を行い、全ての製品が基準値を超えることのないようにチェックしています。お客様に安心・安全な室内空間を提供するために、今後も一層努力していきたいと思います。

総合研究所 第二研究室 山王玲子

用語解説

VOC　揮発性有機化合物（Volatile Organic Compounds）のこと。塗料や接着剤等に溶剤として含まれ、空気中に容易に揮発する物質の総称。

従業員とともに

人材の育成や、業務改善のための制度を設けています

永大産業では、従業員とともによりよい企業風土を構築していくための様々な取り組みを行っています

:: 製品研修会を開催しています

永大産業では、営業社員を対象として定期的に新製品の研修会を開催しています。研修会では実際の製品を見ながら事業部門が開発のコンセプト、製品の特徴などを細かく説明します。最近の製品は様々な機能が付加されているため、こうした機能を営業社員がユーザーに分かりやすく説明できるようにするのが、この研修会の大きな狙いです。製品を販売するだけでなく、その製品を活用して、お客様に対してよりよい提案を行うことを重視しています。この研修会は事業部門の開発担当者が営業部門の声を直接聞く機会でもあり、新たな製品の開発にもつながっています。

:: 表彰制度を設け、改善に努めています

永大産業では、社内で表彰制度を設けています。業績の向上に寄与した販売部門への表彰のほか、生産性を向上させた製造部門への表彰、その他個人に対する表彰制度があります。個人に対する表彰では、2005年から新たに「会社への提言」制度を実施しています。これは1年間に2回、会社にとってプラスになる提言を社内から募るものです。こうした従業員からの問題提起、改善提案を社内の業務改善につなげています。

:: マイスター制度による後継者を育成しています

永大産業では製造部門で、長年の経験と知識・努力で習得した技術・技能を有している従業員に対し「マイスター職」として認定し、処遇する制度を導入しています。マイスター職になるためには専門知識、技術、技能を身につけているだけでなく、自己の持つ専門知識・技術等を後継者に習得させるための指導力も必要となります。マイスターの等級は初級のM-5級から最高度M-S級まで6段階に分かれています。この制度は高度な技術・技能を有する従業員の意欲を高め、なおかつモノづくりに必要な技術の伝承・維持を大きな目的としています。

VOICE 従業員の声

自己啓発・研鑽を支援しています

企業の競争力は、従業員の質の高さに比例します。永大産業では補助金制度を設け、従業員の自己啓発・研鑽を支援しており、今後も潜在的な能力を引き出すため、様々な取り組みを行っていきたいと思っています。

人事部人事課　服部裕紀

より働きやすい職場環境づくりに努めています

:: 高齢者の雇用を促進

永大産業では高齢者雇用の受け皿として、2004年3月に人材派遣会社の永大スタッフサービス（株）を、また2005年7月にアウトソーシング業務の請負を行う永大テクノサポート（株）をそれぞれ設立しました。定年を迎えても、健康である限り社会とかかわりをもって働きたいという多くの声に応えたものです。両社はモノづくりに不可欠な技能を次の世代に伝承する重要な役割も担っています。

:: 従業員の健康管理をサポート

永大産業では従業員全員の健康管理を最重要課題として、本社、各事業所に医務室を設けています。医務室では、経験豊かな看護師が常駐し、従業員の保健指導や健康管理に気を配っています。また各種健康診断とフォローアップのほか、心のケア、体力増進のためのサポート活動を行っています。

本社医務室

本社テニスコート

- **健康普及活動**
  年1回の法定健康診断や、近年増加傾向にある生活習慣病を予防するための検診、また女性従業員のための婦人科検診を行っています。人間ドッグについては補助金制度を設けています。
- **健康増進サポート**
  健康増進の一環として、テニスやサッカーなどのサークル活動や、事業所等の健康器具購入をサポートしています。
- **心のケア（メンタルヘルス）活動**
  ストレス等により心の病が生じがちな今日、当社ではメンタルヘルスケアにも目を向けています。いつでも気軽に相談できるよう、電話（フリーダイヤル）による相談を受け付けているほか、パソコンからのWeb健康相談窓口も設けています。

:: 従業員の交流会を開催

大阪、敦賀、山口・平生の各事業所では、社内でのコミュニケーションを活発化させる目的で、社内における交流会を実施しています。春には、新入社員を歓迎する「ソフトボール大会」など様々なイベントを開催しています。部門間や、同じ部門でも上司と部下とのコミュニケーションを深めていくことで、事業所内における災害発生の防止や、新製品開発に対するモチベーションの向上を図っています。

VOICE 従業員の声

法令を遵守し、より働きやすい職場に

当社では2009年5月、育児休業規程を改正し、対象となる子供の年齢を3歳から小学校就学の始期まで引き上げました。今後も法令を遵守するとともに、従業員の子育てを支援するなど、より働きやすい職場にしていきたいと考えています。

人事部労務課　山口剛史

地域社会とともに

地域に親しまれる企業を目指しています

山口・平生事業所の活動

少年サッカーチームにグラウンドを提供

山口・平生事業所では、地域社会と良好な関係を築くため、地元の少年サッカークラブにグラウンドを提供し、青少年のスポーツ振興に力を入れています。2008年12月には、第20回サッカーフェスティバルが当社グラウンドで開催され、16チームが優勝を目指しました。なお長年にわたり、施設の提供を通じて少年サッカークラブの育成への貢献が評価され、地元平生町から感謝状をいただきました。

サッカーフェスティバル

サッカー用クラブハウス

トイレを新設するなど、サッカー用クラブハウスをより快適に利用してもらえるよう努めています。

VOICE 従業員の声

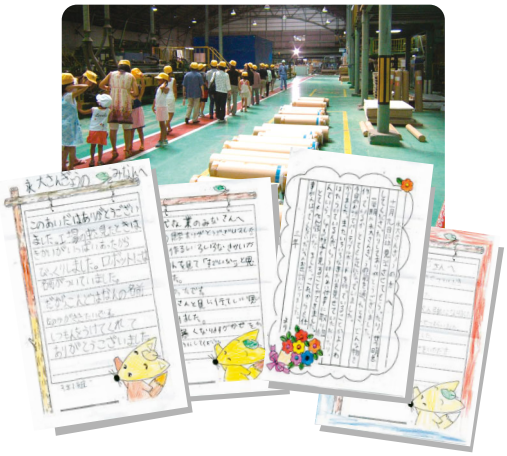
スポーツ振興に寄与していきます

永大産業は、かつて日本リーグ一部に所属するサッカーチームをもっていました。こうしたことが縁で、地元の少年サッカークラブへのグラウンド提供を継続してまいりましたが、地域から慕われる企業を目指し、これからも支援活動を行っていく考えです。

山口・平生事業所 総務課　斎宮一人

工場見学と体験学習を実施

山口・平生事業所では社会学習の一環として、毎年秋に地元小学校の工場見学や中学校の体験学習を受け入れています。2008年度は、小学校3年生の児童110名が見学に訪れました。また体験学習では中学生も参加し、当社の主力原材料であるビーチ突き板の端材を使って、栞（しおり）づくりにチャレンジしてもらいました。



交通安全活動に協力

毎年春と秋の交通安全週間には、児童の安全を確保するため、山口・平生事業所の所員が交差点で、交通の安全活動に従事しています。2008年は4月6日～15日、9月21日～30日の期間、活動しました。

敦賀事業所 の活動

:: 事業所見学会を開催

敦賀事業所では、事業所の見学会を実施しています。2009年6月には、当事業所の操業45周年を機に、近隣にお住まいの方々を招待して見学会を行い、永大産業への理解を深めていただきました。当社は今後もこうした見学会などの活動を通じ、地域との交流を深めていきたいと考えています。

VOICE 従業員の声

定期的に見学会を開催

工場見学を終えての質疑応答では、周囲に対する環境対策に対する質問が多く、当事業所が環境に配慮するためどのような措置を講じているか説明しました。「近くに住んでいるが、大変参考になった」とのご意見をいただきましたので、これからも見学会を定期的に行っていく考えです。

敦賀事業所 総務課　成瀬富男

:: 福井県クリーンアップふくい大作戦に参画

福井県は美しい自然環境を守るため、毎年「クリーンアップふくい大作戦」を実施しています。敦賀事業所では、この環境美化活動に参画し、年4回のペースで大掛かりな清掃を実施しています。清掃日には事業所員が、道路等でのごみ、空き缶拾いや除草などを行い、地域の美化に努めています。

:: 「敦賀市環境フォーラム」に毎年参加

敦賀市・つるが環境みらいネットワーク主催の「敦賀市環境フォーラム」に毎年参加しています。2009年は2月28日と3月1日の2日間、敦賀市の「きらめきみなと館」で開催されました。期間中は、木製品のリサイクルについて理解してもらおうと、パーティクルボード製品を展示したり、パネルや映像を用いて、環境への取り組みを説明しました。

サイトレポート

永大産業グループ会社の概要をご紹介します

小名浜合板株式会社　東日本における生産・物流拠点

会社概要

本　　社　〒971-8183
福島県いわき市泉町下川字田宿1-1
TEL：0246-56-6391（代）　FAX：0246-56-0329

資 本 金　3億3,750万円（2009年3月現在）

従業員数　161人（2009年3月末日現在）

事業内容　1.パーティクルボード、化粧パーティクルボードの製造販売
2.収納扉部材および造作部材の製造販売
3.階段部材の製造販売

TOPICS

2008年、本社工場内に「小名浜物流センター」を整備し、物流面の強化を図りました。取引先への配送距離を短縮することで、環境負荷の低減にも貢献しています

INPUT

エネルギー投入量

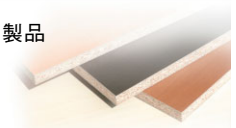
種　別	使用量
購入電力	18.1千MWh
揮発油	10kl
軽油	78kl
灯油	47kl
LPG	48t
水	110千m³

OUTPUT

温室効果ガス排出量
11,100t-CO_2

廃棄物の排出量
最終処分量　131t

主な製品



パーティクルボード

エヌ・アンド・イー株式会社　国産材を活用したMDFを生産

会社概要

本　　社　〒773-0020
徳島県小松島市和田津開町字北395-6
TEL：0885-37-1153（代）　FAX：0885-37-3180

資 本 金　37億5,000万円（2009年3月現在）

従業員数　74人（2009年3月末日現在）

事業内容　MDFの製造販売

TOPICS

新たな設備で温室効果ガスを削減

2007年5月、MDFの成型用ガスタービンの燃料を、灯油からLNG（液化天然ガス）に転換し、この設備の温室効果ガスを12%削減しました。

INPUT

エネルギー投入量

種　別	使用量
購入電力	14.6千MWh
揮発油	63kl
軽油	26kl
灯油	0kl
LNG	7,497t
水	173千m³

OUTPUT

温室効果ガス排出量
26,168t-CO_2

廃棄物の排出量
最終処分量　398t

主な製品

NEOボード

ホームページ紹介／編集後記

ホームページを介し、広く情報を公開しています

永大産業のホームページは、1998年10月の開設以来、訪問していただいた方に必要な情報を、より分かりやすくお伝えすることを重視して運営してきました。
現在では、トップページに当社の事業の核となる木との関係を簡単にイメージしてもらえるようにアニメーションを使って説明しています。また、目的の情報に対してアクセスしやすいように、シンプルなデザインを採用し、製品情報、会社情報、建築業界の方へ、お客様サポートと4つの大きな分類に分けて情報を公開しています。
今後もお客様のお役に立てる情報を提供する場として、さらに内容を充実し魅力的なホームページづくりを目指します。

環境社会報告書2009 Web版

この「環境社会報告書2009」はホームページでもダウンロード（PDF形式）できます。

永大産業ウェブサイト http://www.eidai.com

トップページ

環境について

環境社会報告書2009
Web版

編集後記

この「環境社会報告書2009」をご覧いただき、誠にありがとうございました。これまで社内向けに発刊していた「環境社会報告書」を、今年から社外に公開していくことになり、ステークホルダーの皆様に見やすく、わかりやすいレイアウトにすることを第一に考えました。特に皆様にお伝えしたかったのは、木を活かした環境保全への取り組みを示した「特集」の部分です。当社の取り組みがより多くの方々に理解していただけたのではないかと考えています。2009年度の報告書ではさらに内容の充実を図り、信頼性の向上に努めていきたいと思っています。皆様からのご意見、ご感想をお寄せいただければ幸いです。

EIDAI

http://www.eidai.com

永大産業株式会社
〒559-8658　大阪市住之江区平林南2-10-60　TEL 06-6684-3000（代）
お問い合わせ先：経営企画部 CSR推進室　TEL 06-6684-3062　FAX 06-6684-3068

ミックス品
FSC認証林及び管理された
森林からの製品グループです
www.fsc.org　Cert no. SGS-COC-001508
© 1996 Forest Stewardship Council

この印刷物は環境に配慮して、石油系溶剤の一部を大豆油に替えた「大豆油インキ」を使い、ISO14001認証工場において、廃液の出ない「水なしオフセット印刷」で印刷しています。
PRINTED WITH SOY INK
Waterless Printing, Naturally

A584Ze0909dnDN第1版
2009.09